



学校便り

佐渡市立金井小学校 令和7年10月31日 第7号

ホームページ <http://kanai-es.sado.ed.jp> E mail : kanai-es@sado.ed.jp

豊かな心の成長のために読書を

校長 森 和人

金井小学校では毎週火曜日に学年を変えて、読書ボランティアの方々による朝の読み聞かせ活動を行っています。低学年はもちろん、高学年の児童も読み聞かせ活動を楽しみにしており、みんな集中してお話の世界に浸っています。

11月7日から25日まで、学校では読書旬間と決めました。その期間には、図書委員会による「くじ引き」「図書クイズ」「読書ビンゴ」などのイベントが企画され、本を多く借りられたり、景品をもらえたりします。また、ペア学年による読み聞かせ活動も予定され、子どもたちがたくさん本に触れることが期待できます。

読書のすばらしさについては、「考える力が付く」「多くの言葉を覚える」など良さはいろいろありますが、私はその中で「相手の気持ちが分かるようになる」という良さが心に残りました。本にはいろいろな登場人物が出てきて、それぞれの立場で感情が表現されています。読者は客観的に考えながら、お話の場面に自分の思いを巡らして落としていきます。子どもたちは、成長過程の中で、自己中心的な考え方から他者理解を含めた全体のためへの見方へと変化します。その成長を助ける手段として読書は大切な教育活動と言えます。

多くのご家庭では、お子さんが小さかった時に読み聞かせをしたのではないのでしょうか。「本好きになってほしい」「感情豊かになってほしい」など、親としての思いや願いがあって行っていたと思います。小学生になっても、思う以上に子どもたちは読み聞かせが好きです。この度の読書旬間では、家族での読書活動もお願いする予定です。少し大きくなった我が子に読み聞かせをしてみても良いかと思います。また、家庭の中で大人も読書に親しんだり、一緒に図書館に出かけたりすることも良いでしょう。きっと読書を通して豊かな心の成長につながると思います。

